

弁護士の子供自衛官誕生



予備自衛官補訓練参加中の得能さん
(左から三番目)

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 近藤 1 空尉)は、2月5日(月) 昨年春に予備自衛官補採用試験に合格した得能 智高(とくのう) ともたか(さん)(33歳) から、予備自衛官補訓練を修了し、晴れて予備自衛官に任命された報告を受けた。得能さんは、弁護士として東京都内の法律事務所に勤務する傍ら、何か役に立てるのではと思い予備自衛官を志望。昨年4月朝霞駐屯地で実施された弁護士や医師、英語などの資格や技能を持つ者を対象とした予備自衛官補採用試験を受験し、合格した。

仕事の都合を調整し、武山駐屯地第117教育大隊にて、基本教練や射撃などの10日間の訓練を修了し、採用から1年もたないうちに予備自衛官に任命され、得能予備2等陸尉の誕生となった。

得能さんは「合格してから、仕事との両立に不安がありました。そんな時、陸自ヘリの体験搭乗の機会を頂きました。その折、広報官の方に相談のつもり、又実際に働く隊員の姿を見て、訓練に参加して予備自衛官になる決心ができました」とこれまでの経緯を話し、広報官が訓練の感想を聞くに「楽しんで仕方がなかった。予備自衛官訓練も仕事の日程を調整しながら、参加したい」と意気込みを語った。

市ヶ尾募集案内所は「広報官の機転により志願者のやる気を継続させ、訓練参加に導くことができた。本人からの予備自衛官就任の報告は嬉しかった。今後も予備自衛官補の広報を継続し、合格者へのフォローを忘れず優秀な人材を確保していきたい」としている。

横浜市立仲尾台中学校で「職業講話」を実施し自衛隊をPR



生徒からの質問に答える
横浜中央募集案内所小松曹長

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所(所長 日比野准陸尉)は、2月5日(月)、横浜市立仲尾台中学校(横浜市中区)において「職業講話」を実施し自衛隊をPRした。当中学校からは今年度も高等工科学校の受験者、1次試験合格者が出るなど、自衛隊に対して理解の深い学校である。

聴講したのは、スポーツ選手や旅行添乗員、弁護士など数ある職業講話のうち「自衛隊」の仕事を知りたいと希望し、選択した中学1年生の14名。広報官は日本を守る仕事、世界の安定を手伝う仕事などと中学生にも分かりやすくスライドや動画を用いて説明し、また陸自普通科対戦車ミサイル(87ATM)を扱っていた経験から陸上自衛官の仕事について話し、訓練や整備など今日、明日、明後日と仕事内容が異なり、様々な経験をすることができると紹介した。

生徒からは「自衛官がしてはいけないことは何ですか」「自衛官になる試験は難しいですか」「ミサイルはどうやって撃つのか」などの質問や「自衛隊には様々な仕事や入隊コースがあることを初めて知った」「基地に行ってみよう」などの感想が聞かれた。

講話後、平本校長は「1年生にとっては、初めての仕事についての授業であり、印象に残るようになる。2年生では職場体験、3年生では進路選択となっていく。今後も協力をお願いしたい」と話した。

横浜中央募集案内所は「積極的に学校と協力し、生徒の自衛隊への理解に努め、募集成果につなげていきたい」としている。

空自三沢基地より臨時勤務中の女性自衛官との懇談で入隊へ前向きに



募集広報業務にあたる野田士長

神奈川地方協力本部厚木募集案内所(所長 岡山 1 海尉)は、1月24日(水) 当事務所内にて受験・入隊予定者の不安を解消し、入隊意欲を向上させることを目的として、神奈川県本募集課に臨時勤務中の女性自衛官との懇談会を実施し、大学4年の女子学生3名が参加した。

空自三沢基地三沢管制隊より臨時勤務中の野田 沙智子士長は、入隊3年目で管制官と航空機乗員の交信に使われる無線機の保守整備を行う地上無線整備員を務める。神奈川県では、説明会やイベント、市街地での募集広報の他、入隊試験や募集対象者向けイベントの企画業務補助を行っている。

受験予定の1名と今春入隊予定の2名は、入隊しすぐの教育訓練の内容や女性隊員はどのような人が多いのか、また休暇の過ごし方などについて質問し、野田士長は丁寧に答えていた。また、管制官から感謝の言葉をかけてもらった時は、この仕事をしていたて良かったと嬉しくなる事などを聞いた空自入隊予定者は「これから自衛隊で仕事をする実感が持てました。楽しみです」と話し、話が進むにつれて緊張も解け、趣味や恋愛などの話題も上がり、懇談は終始和やかな雰囲気だった。参加者は「女性自衛官の方が生き生きとしていて、今の生活が充実しているのが分かります」と感想を述べ、入隊へ向けてより意欲が湧いた様子だった。

野田士長は「入隊予定者と話すのは、とても新鮮な気持ちになった。自分も入隊するまでは、相談できる人もおらず不安でいっぱいだった。機会を頂いたからには、受験・入隊予定者だけでなく、地本の力となるよう様々な事に取組んでいきたい」と話していた。

厚木募集案内所は「女性の入隊予定者が不安なく入隊できるように、自衛隊は女性が活躍できる組織であることを様々なかたちで伝えていきたい」としている。